

# System x and Cluster Solutions Configurator (x-config)

ユーザー・ガイド/  
ミニ・チュートリアル  
2015 年 1 月



**lenovo** FOR  
THOSE  
WHO DO.

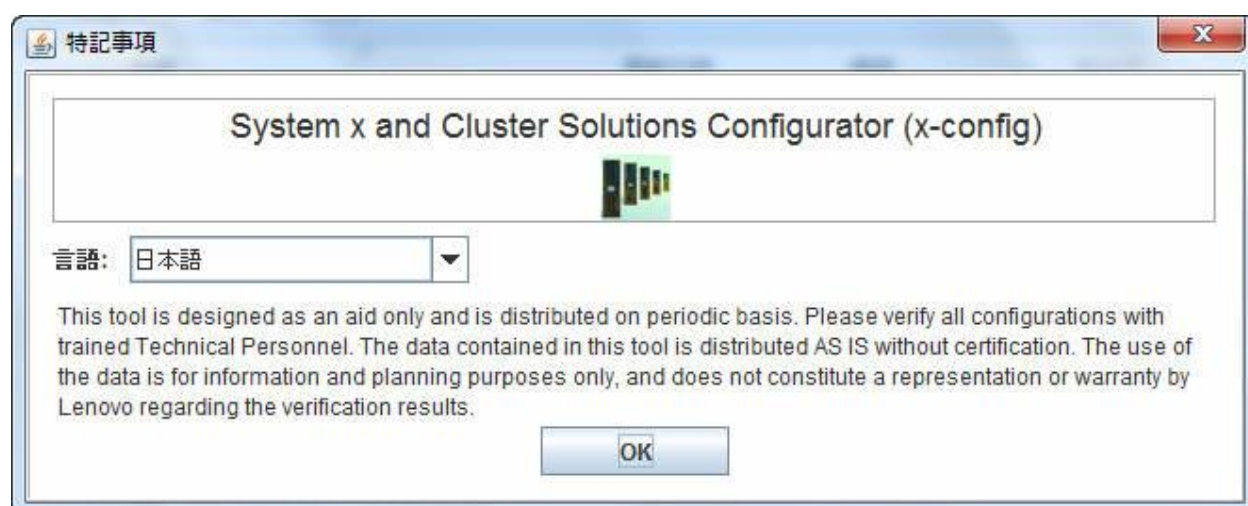
## 目次

|                        |    |
|------------------------|----|
| 1. Lenovo の特記事項 .....  | 3  |
| 2. 始めに.....            | 4  |
| 3. Express 構成.....     | 6  |
| 4. ソリューションの作成/変更 ..... | 9  |
| 5. クラスタ設定.....         | 15 |
| 6. ソリューション規則.....      | 16 |
| 7. ケーブリング.....         | 17 |
| 8. ユーザー・ビュー・オプション..... | 18 |
| 9. チュートリアル.....        | 19 |
| 10. ヘルプとサポート.....      | 22 |

## 1. Lenovo の特記事項

x-config の初回起動時には、以下の特記事項が表示されます。

This tool is designed as an aid only and is distributed on periodic basis.(このツールは補助専用として設計されており、定期的に配布されます。)Please verify all configurations with trained Technical Personnel. (訓練を受けた技術担当者とともにすべての構成を確認してください。) The data contained in this tool is distributed AS IS without certification. (このツールに含まれているデータは保証なしで現状のまま提供されています。)The use of the data is for information and planning purposes only, and does not constitute a representation or warranty by Lenovoregarding the verification results. (これらのデータの使用は情報入手と計画のみを目的としており、これらのデータを使用した場合の検証結果に関して Lenovo は一切の保証責任を負いません。)



ユーザーは、この画面でユーザー・インターフェースの言語を選択できます。選択可能な言語は次のとおりです。

- 中国語 (簡体字)
- 中国語 (繁体字)
- 英語
- フランス語
- ドイツ語
- イタリア語
- 日本語
- 韓国語
- スペイン語

## 2. 始めに

このセクションでは、System x and Cluster Solutions Configurator (x-config) を初めて使用するユーザーを対象にして、このプログラムをインストールして新しいソリューションの作成を開始する方法を説明します。このガイド全体にわたって、ソリューションとなり得るのは、iDataPlex、Intelligent Cluster、Microsoft Cluster、NeXtScale、または「Express」=>「オプションなしソリューション」=>「タイプ」=>「テンプレート (Template)」からアクセスできる他の統合ソリューションです。x-config のスターター画面では「Intelligent Cluster」を選択してください。

### 2.1. x-config をオンラインでインストール/更新するための URL:

<https://www.ibm.com/products/hardware/configurator/americas/bhui/asit/>

**注:** x-config を使用するには、次の URL からダウンロードできる Oracle SDN JRE バージョン 6 以上が必要です: [Oracle SDN Java SE Runtime Environment 6](#)

## 2.2. スターター画面

x-config を開始すると、次の画面が表示されて、新規または既存のソリューションの操作を開始するためのいくつかの方法が提示されます。構成モードを開始した後も、「ファイル」メニューから「スターター」オプションを選択してこの画面にいつでも戻ることができます。(注: 警告メッセージで示されるとおり、スターター画面に戻ることによって構成を終了すると、その時点で作成中または変更中であったソリューションに関する未保存の変更内容がすべて失われます。)



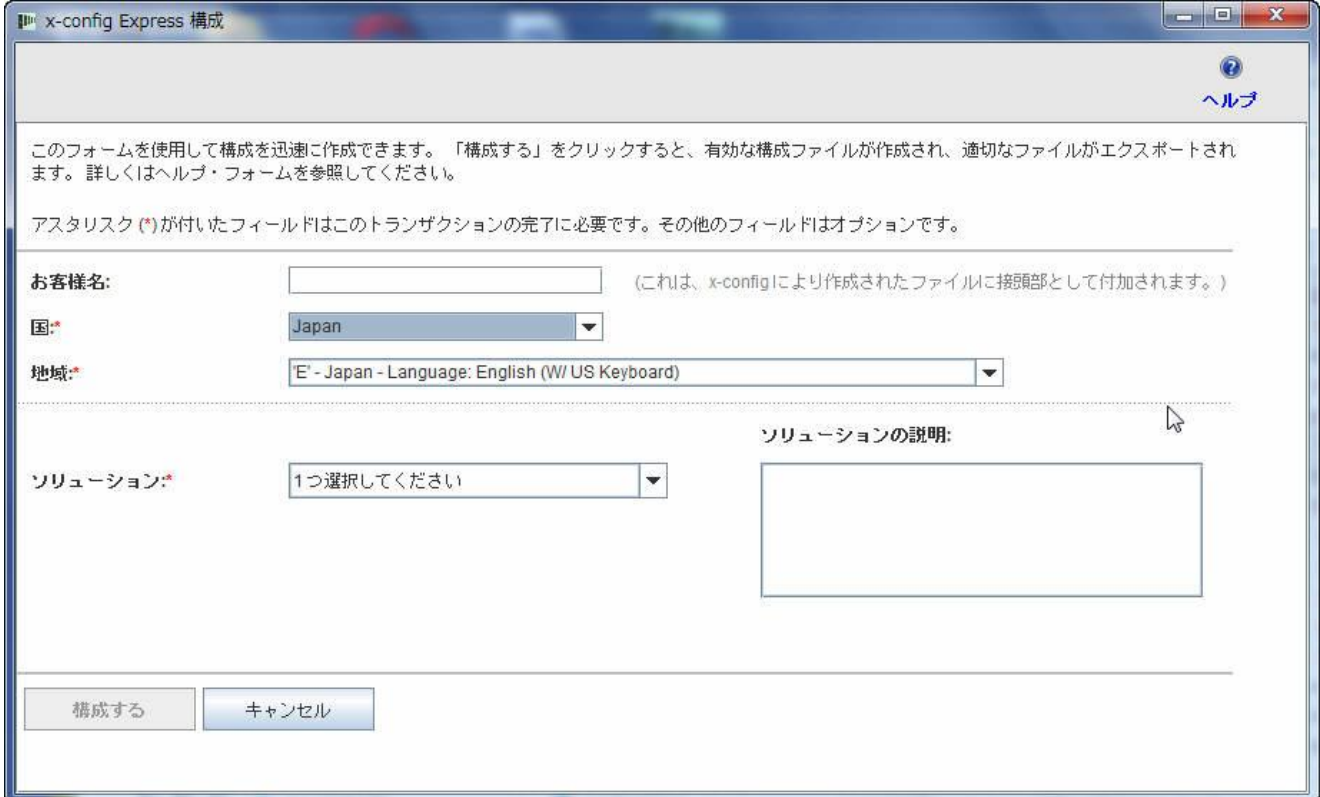
- a) Express - 限られたオプションを使用してシンプルなソリューションを素早く作成できます。
- b) カスタム - 新規ソリューションを最初から作成します。
- c) 開く - 以前に保存されたソリューションを読み込みます。
- d) ヘルプ - このツールの基本的な機能に関するヘルプ情報を参照できます。
- e) 終了 - x-config を終了します。

### 3. Express 構成

「Express」を選択すると、限られたオプションを使用してソリューションを素早く構成できます。

#### 3.1 例: iDataPlex の Express 構成画面

iDataPlex ソリューションは、2 から 84 ノード (2 ノードで一組) に対応しています。iDataPlex 統合ラック、iDataPlex レール・キット付きのスタンドアロン・シャーシ、またはエンタープライズ・レール・キット付きのスタンドアロン・シャーシを使用してソリューションを作成することもできます。



x-config Express 構成

ヘルプ

このフォームを使用して構成を迅速に作成できます。「構成する」をクリックすると、有効な構成ファイルが作成され、適切なファイルがエクスポートされます。詳しくはヘルプ・フォームを参照してください。

アスタリスク (\*) が付いたフィールドはこのトランザクションの完了に必要です。その他のフィールドはオプションです。

お客様名:  (これは、x-configにより作成されたファイルに接頭部として付加されます。)

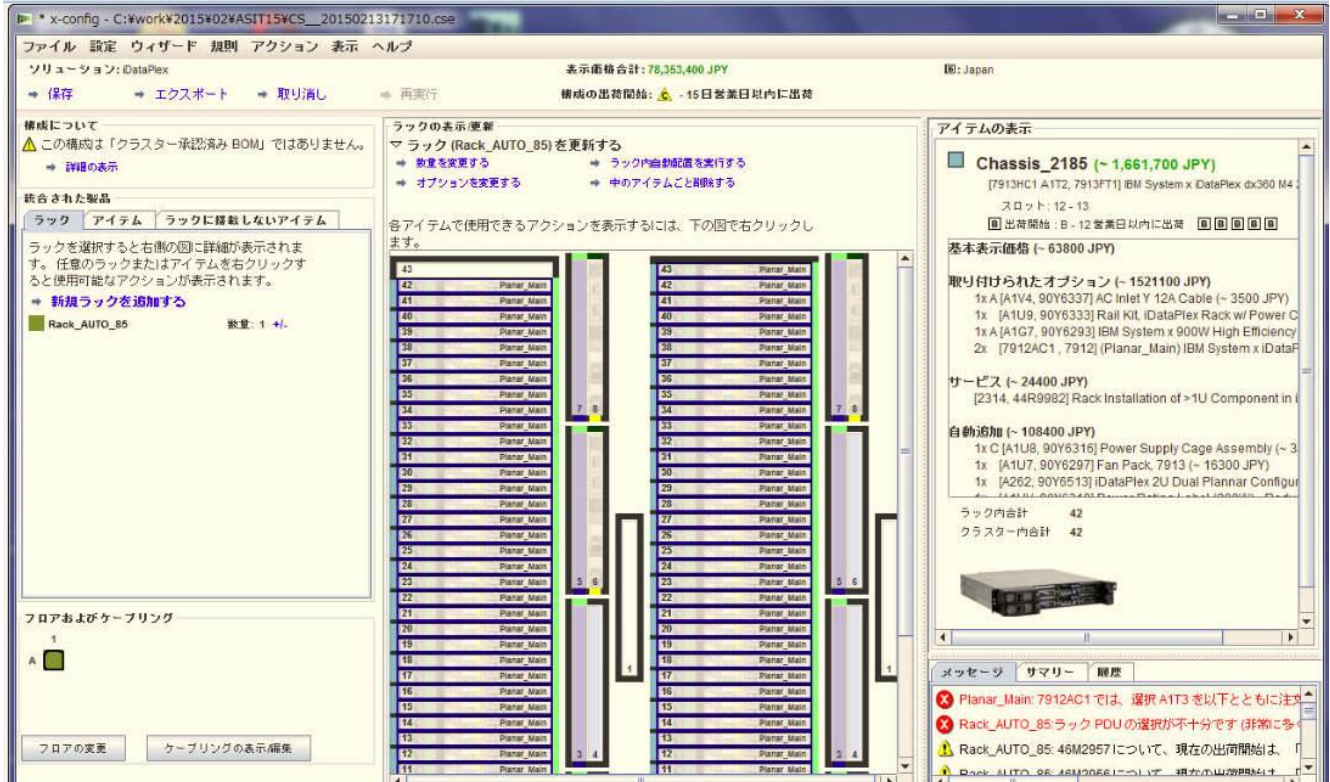
国:\*

地域:\*

ソリューション:\*

ソリューションの説明:

## 3.2 Express 構成を使用した iDataPlex ソリューションの例



- 「Express ソリューション構成 (Express Solution Configuration)」画面で各種項目を選択した後に、構成ファイル (.cse) を保存するためのプロンプトが表示されます。
- これにより、TMF .cfr ファイルと TMF .xls ファイルも作成されます。
- SOVA が自動的に起動されて、構成が確認されます。
- 作成されるファイルの名前には「顧客名\_日時スタンプ」が含まれ、名前の先頭には Custom Solution を表す「CS」が付加されます。

### 3.3. 「Express」 => 「オプションなしのソリューション」 => 「タイプ」 => 「テンプレート (Template)」

「ソリューション」選択リストにない統合ソリューションを作成するには、「オプションなしのソリューション」を選択します。「タイプ」選択リストには大まかな構成オプションが表示されて、「テンプレート (Template)」選択リストには、選択された構成タイプの開始点となるオプションが表示されます。テンプレートを使用すると、サーバー、ストレージ、ネットワークなどのオプションが事前定義されたソリューションを作成できます。

このフォームを使用して構成を迅速に作成できます。「構成する」をクリックすると、有効な構成ファイルが作成され、適切なファイルがエクスポートされます。詳しくはヘルプ・フォームを参照してください。

アスタリスク (\*)が付いたフィールドはこのトランザクションの完了に必要です。その他のフィールドはオプションです。

お客様名:  (これは、x-configにより作成されたファイルに接頭部として付加されます。)

国\*:

地域:

ソリューション\*:

タイプ\*:

ソリューションの説明:  
「オプションがないソリューション」には、ユーザーが構成可能な設定が存在しません。

テンプレート\*:

構成する キャンセル



## 4. ソリューションの作成/変更

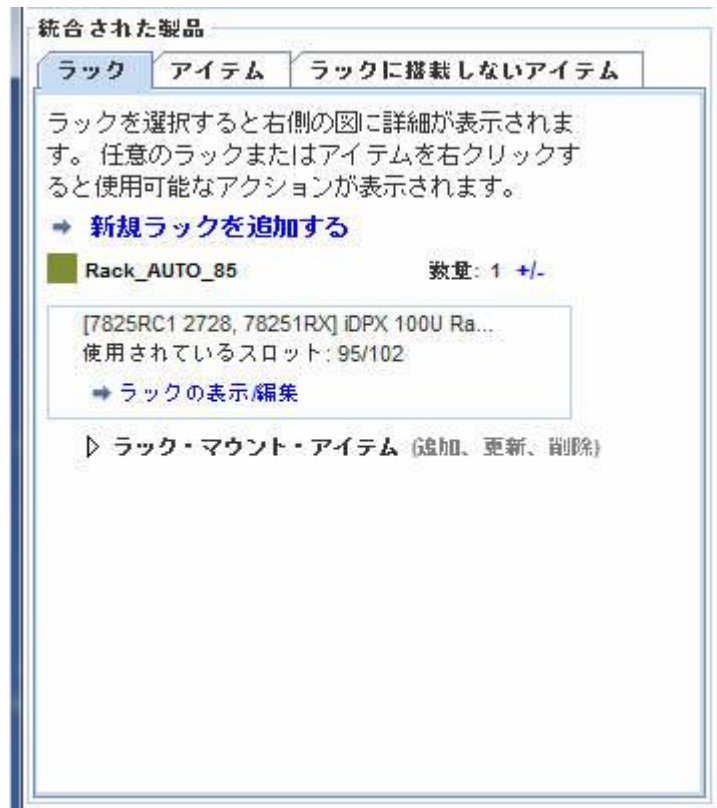
ソリューション構成インターフェースは、新規ソリューションの作成後または既存ソリューションを開いた後に表示されます。この画面から、ソリューションのほぼすべての側面を自由にカスタマイズできます。次の例では、iDataPlex ソリューションが Express モードで作成されています。

The screenshot displays the x-config software interface for configuring a rack. The main workspace shows a rack layout with 42 slots, each containing a 'Planar Main' component. The interface is divided into several panels:

- Top Panel:** Shows the current solution name 'iDataPlex', a total price of 78,353,406 JPY, and the location 'Japan'. It includes buttons for '保存' (Save), 'エクスポート' (Export), '取り消し' (Cancel), and '再実行' (Re-run).
- Left Panel:** Contains a '構成について' (About Configuration) section with a warning that the cluster configuration is not confirmed. Below it is a '適合された製品' (Compatible Products) section showing 'Rack\_AUTO\_85' with a quantity of 1.
- Center Panel:** Features a 'ラックの表示/更新' (Rack Display/Update) section with options to update the rack, change quantities, or change options. Below this is a table of components for each slot, with columns for slot number and component name.
- Right Panel:** Displays 'アイテムの表示' (Item Display) for 'Chassis\_2185'. It lists the item details, a price of 1,661,700 JPY, and a list of options including AC Inlet Y 12A Cable, Rail Kit, IBM System x 900W High Efficiency, and Rack Installation of >1U Component in i.
- Bottom Panel:** Includes a 'フロアおよびケーブリング' (Floor and Cabling) section and a 'メッセージ' (Message) section with a warning about the rack configuration.

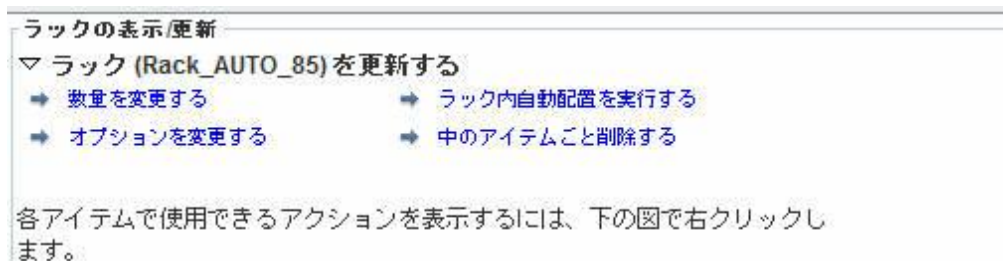
- アイテムが追加、変更、または削除されるたびに、ネットワーク規則とラック搭載規則が自動的に適用されて、x-config は動的に適切な数のスイッチを挿入して、必要な長さのケーブリングを選択して、適切な電源装置とラック電力配分装置を選択します。画面の右下には現在の「メッセージ」が表示されます。また、クラスターの「サマリー」には、クラスター全体の最新の状態に関する統計情報が表示されます。任意の時点で、「履歴」タブから以前のクラスター状態に戻すことができ、クラスターに対して以前に実行された操作を表示できます。

## 4.1. クラスター・レベルのラック操作



- 現在のラックはすべて、画面左側の**ラック・リスト**に表示されます。
- 新規ラックを作成するには、ラック・リストの上部にある「**新規ラックを追加する**」をクリックします。
- このラックを検査ウィンドウに表示するには、ラックを右クリックして「**ラックの詳細を表示する**」を選択します。
- ラベルやラベル色識別子などのラック・オプションを変更するには、ラックを右クリックして「**ラック・オプションを変更する**」を選択します。
- ラックの数量を更新するには、ラックを右クリックして「**ラック数量を更新する**」を選択します。
- 同じオプションを使用して同じアイテムが埋められた状態でラックを新規ラック内に複製するには、ラックを右クリックして「**ラックを複製する**」を選択します。

- ラックを削除するには、ラックを右クリックして「**ラックを削除する**」を選択します。
- 上記の操作のいくつかは、画面の中央に現在表示されているラックの「ラックの表示/更新」の上部からも実行できます (次の図を参照してください)。



## 4.2. アイテム・レベルのラック操作

- 現在の使用可能なアイテムはすべて、画面左側のアイテム・リストに表示されます。
- ラック・リストでラックを左クリックすると、アイテムがラック図に取り込まれて、ユーザーはそのラック内の任意のアイテムを手動で配置、編集、または削除できます。
- アイテムを強調表示すると、そのアイテムの詳細情報が画面右側の「アイテムの表示」に表示されます。「アイテムの表示」には、ネットワーク接続を視覚的に示すネットワーク回線も表示され、そのアイテムの操作メニューが「編集」、「複製」、「削除」という順序で表示されます。

**編集 | 複製 | 削除**



- 新規アイテムを作成するには、ラック内の空きスロットを強調表示して、青い「**追加**」ボタンをクリックします。これにより開かれる選択リストからアイテムを選択して、そのアイテムを自由にカスタマイズできます。  
「**保存**」をクリックして新規アイテムを作成した後に、ユーザーはそのアイテムの単一インスタンスを作成したり、ラック全体にそのアイテムを埋めたり、クラスター内に配置するそのアイテムの具体的な数量を入力したりできます。
- 既存のアイテムを変更するには、そのアイテムを強調表示して、そのアイテムに直接表示される「**編集**」(メモ帳と鉛筆) をクリックするか、そのアイテムを右クリックしてメニューから「**アイテムを編集する**」を選択します。
- 既存のアイテムを複製するには、そのアイテムを強調表示して、「**複製**」(右下向きの矢印) をクリックするか、そのアイテムを右クリックしてメニューから「**アイテムを複製する**」を選択します。
- 既存のアイテムを削除するには、そのアイテムを強調表示して、そのアイテムに直接表示される「**削除**」(ごみ箱) をクリックするか、そのアイテムを右クリックしてメニューから「**アイテムを削除する**」を選択します。
- アイテムを移動するには、そのアイテムをクリックして希望する位置にドラッグします。そのアイテムの移動先に、隣接スロットに移動可能な別のアイテムが既にある場合は、その既存アイテムはその隣接スロットに自動的に移動されます。一部のアイテムについては、いくつかのスロットの右側に青色または赤色のボックスも表示され、これらのボックスはそれぞれ優先スロットと制限スロットを示します。

### 4.3. アイテムの作成/変更

アイテムの新規作成時や変更時には、x-config では以下の操作が可能です。

- ネットワーク接続を構成できます。
- メイン、拡張、必須、ブレードのオプションを選択できます。
- 基本 VLH アイテムにアイテム・ラベルを追加して、色を変更できます。
- 基本アイテム・タイプを変更できます (新規アイテムの作成時のみ)。

ネットワーク接続を追加または削除すると、アイテムの使用可能なオプションが動的に変化して、選択されたネットワークに必要な適切なハードウェアが自動的にインストールまたは削除されます。そのアイテムを選択されたネットワークに接続できない場合は、選択されたネットワークが自動的に削除されます。



新規アイテムの作成時には、以下の挿入レベルを選択できます。

- 単一 - 新規アイテムの単一コピーを作成します。
- ピック - 当該アイテムの選択されたスペースをピックします。
- ラック - 新規アイテムの可能な限り多くのコピーをラック全体に格納

します。

- 数量 - 新規アイテムの指定された数のコピーを作成してクラスター内に配置します。

編集したアイテムの保存時には、以下の変更レベルを選択できます。

- グローバル (Global) - 当該アイテムのすべてのコピーを変更します。
- ラック - 現在のラックについてのみ当該アイテムのすべてのコピーを変更します。
- 複数 (Multi) - ユーザーの選択に基づいて当該アイテムの複数のコピーを変更します。
- 単一 - 当該アイテムの単一コピーを変更します。
- キャンセル - すべての変更を取り消します。

アイテムの削除時には、以下の削除レベルを選択できます。

- 単一 - 当該アイテムの単一コピーを削除します。
- 複数 (Multi) - ユーザーの選択に基づいて当該アイテムの複数のコピーを削除します。
- ラック - 当該アイテムのすべてのコピーを現在のラックから削除します。
- グローバル (Global) - 当該アイテムのすべてのコピーをクラスター全体から削除します。

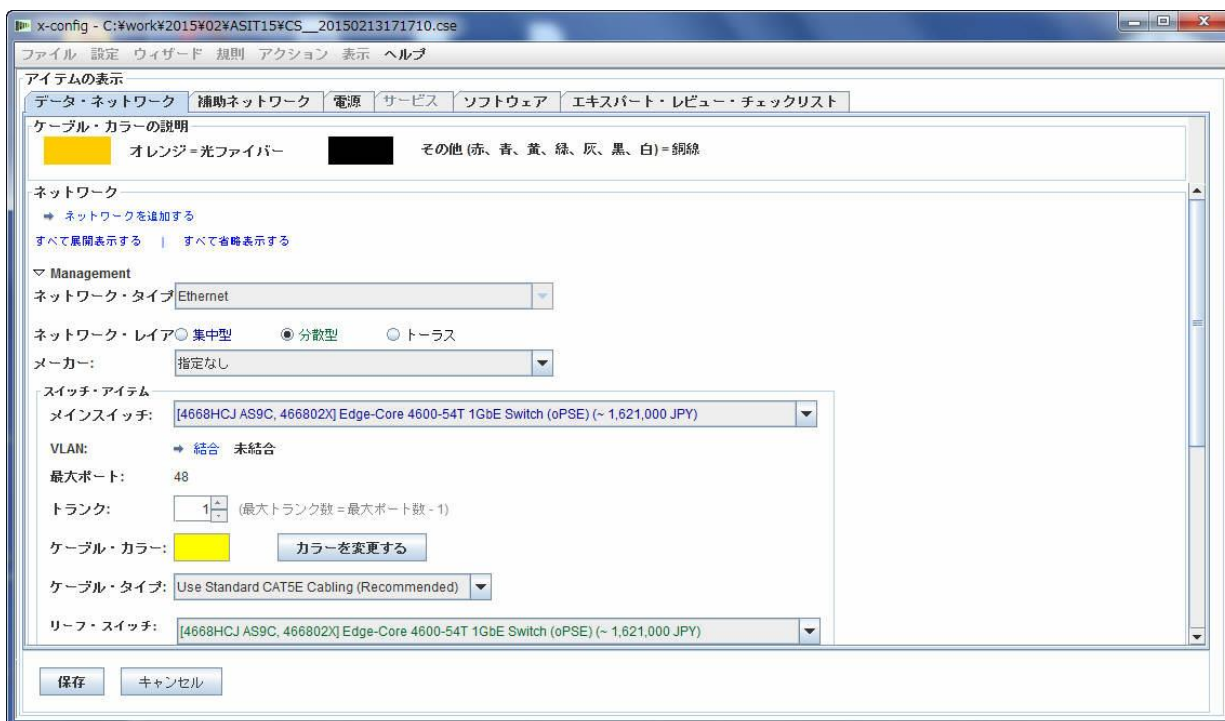
注: 「グローバル (Global)」以外の方法でアイテムを保存する際は、そのアイテムの新しい「テンプレート」または「バージョン」が作成されて、すべての変更された設定は選択されたテンプレートまたはバージョンのみに適用されます。変更の範囲外にある当該アイテムの以前のバージョンは変更されな  
いままです。これは、新規アイテムに割り当てられる異なるラベル名とラベル色に反映されます。

## 5. クラスタ設定

「クラスタ設定」を開くには、「設定」メニューから「クラスタ設定」を選択します。

### 5.1. ネットワーク

「データ・ネットワーク」タブでは、ネットワークとその設定を追加、変更、および削除できます。ネットワーク・タイプを選択するオプションの下にある色ボタン・ボックスは、そのネットワークのケーブル色を表します。このボタンをクリックすると、そのネットワークのケーブル用に選択できる一連の色が表示されます。



### 5.2. 「電源」、「サービス」、および「ソフトウェア」

これらのタブで希望のオプションを選択して、クラスタの電源タイプ、クラスタ・レベルのサービス、およびソフトウェアを変更できます。

### 5.3 エキスパート・レビュー・チェックリスト

チェックリストの質問に慎重に回答して、ソリューション・センターとレビュー担当者がお客様のソリューション要件に関する適切な情報をすべて得られるようにしてください。この情報はほとんどの構成で必須です。この情報は、ソリューションの設計や、設計に従った構成のトラブルシューティングにも役立ちます。

## 6. ソリューション規則

**重要事項:** ソリューション規則はソリューションを適切に構成するために重要であるため、常に有効のままにしてください。上級ユーザーが規則を無効にする必要がある場合は、上級ユーザーは自動のネットワーク規則やラック搭載規則を無効にしてもかまいません。規則を無効にする必要があるのは、自動化プロセスがクラスターの特定ニーズを満たすのに十分でない場合のみです。x-config の「規則」メニューには、ルールを無効/有効にするためのオプションが表示されます。

- ネットワーク規則を無効にすると、スイッチ、アダプター、サーバー、およびケーブリングがソリューション側で動的に調整されなくなります。
- ラック搭載規則を無効にすると、クラスター内のすべてのアイテムを **Intelligent Cluster** とラックの標準に準拠させ続けるための特定規則がソリューション側で適用されなくなることがあります。



## 7. ケーブリング

ケーブリングを表示するには、「設定」メニューから「ケーブリング設定」を選択します。接続元と接続先を接続するために必要なネットワーク・ケーブル長とネットワーク・ケーブル色に基づいて、すべてのケーブルが自動的に選択されます。

ケーブルを構成する

コンポーネント・フィルター

ラック図

左側のラック図をクリックすると、特定ラックのコンポーネント接続が表示されます。  
 接続の詳細を表示および/または変更するには、以下の手順を実施します:  
 1. 1つ以上の「From」コンポーネント(下、左)を選択します。コンポーネントを展開すると、使用されているスロットが表示されます  
 2. 1つ以上の「To」コンポーネント(下、右)を選択します  
 3. 「接続を表示」ボタンをクリックして結果を表示します

ラック A1 コンポーネント (From) すべて展開... | すべて省略...

すべてのコンポーネント

- 1: (Ethernet\_Management Main) [7309HCP A4BW, 7309BAX] IBM System Networking RackSwitch G7028 (~ 454,400 JPY)
  - Slot U12
- 1: (Server\_2185) [5460, 5460FT1] IBM System x3650 M4 HD (~ 1,112,300 JPY)
  - Slot U1

ラック A1 コンポーネントに接続されているコンポーネント (To) すべて展開... | すべて省略...

すべてのコンポーネント

- Rack A1 (Rack\_1) [1410RC4 1048, 14104RX] e1350 42U rack cabinet (~ 4,698,400 JPY)
  - 1: [A3T1, 47C2509] DPI Three-phase 16A/380-415V C13 Enterprise PDU (International) (~ 167,000 JPY)
  - 1: (Ethernet\_Management Main) [7309HCP A4BW, 7309BAX] IBM System Networking RackSwitch G7028 (~ 454,400 JPY)
    - Slot U12

◀ ▶ 接続を表示

接続の結果

ソート: Network name ▼ 第 2 ソート: ▼ 第 2 ソート: ▼ ソートを活用

| ネットワーク                | ロケーション                    | ポート            | コンポーネント                                                                                                                                                                                                      | ケーブル                                                           |
|-----------------------|---------------------------|----------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------|
| Management (Ethernet) | From: A1/U1<br>To: A1/U12 | IMM2<br>P1     | (Server_2185) [5460, 5460FT1] IBM System x3650 M4 HD (~ 1,112,300 JPY)<br>(Ethernet_Management Main) [7309HCP A4BW, 7309BAX] IBM System Networking RackSwitch G7028 (~ 454,400 JPY)                          | <input type="checkbox"/> [2323, 02R2271] IntraRack.C           |
| Power - C14           | From: A1/U12<br>To: A1/D1 | ACInput1<br>P5 | (Ethernet_Management Main) [7309HCP A4BW, 7309BAX] IBM System Networking RackSwitch G7028 (~ 454,400 JPY)<br>[A3T1, 47C2509] DPI Three-phase 16A/380-415V C13 Enterprise PDU (International) (~ 167,000 JPY) | <input checked="" type="checkbox"/> [6311, 46M2982] 2.8m, 10A/ |
| Power - C14           | From: A1/U1<br>To: A1/D1  | PS1<br>P1      | (Server_2185) [5460, 5460FT1] IBM System x3650 M4 HD (~ 1,112,300 JPY)<br>[A3T1, 47C2509] DPI Three-phase 16A/380-415V C13 Enterprise PDU (International) (~ 167,000 JPY)                                    | <input checked="" type="checkbox"/> [6311, 46M2982] 2.8m, 10A/ |

## 8. ユーザー・ビュー・オプション

「表示」メニューにあるいくつかのオプションを使用して、クラスターの作成プロセスを簡素化できます。

- **ラック図表示サイズ** - 「極小」、「小」、「中」、および「大」を選択できます。これらは、ユーザーのシステム画面ディスプレイ・サイズ設定に基づいて自動的に選択されます。上記の順序で、推奨ディスプレイ要件はそれぞれ 1024x768、1280x1024、1600x1200 です。
- **ラック・リストの向き** - デフォルトを「ラック・アイコンを表示する」をオフから「ラック・アイコンを表示する」をオンに変更した場合は、ラック・ビューを縦向きまたは横向きに設定できます。
- **パーツ・ナンバー** - TMF や HVEC のパーツ・ナンバー情報をアイテム説明とともに表示または非表示にします。
- **カラー・ラベルを表示する** - 中央のラック図領域で各アイテムの左側にアイテム色ラベルを表示するかどうかを切り替えます。
- **ネットワーク回線を表示する** - 強調表示されたアイテムのネットワーク接続を表示するかどうかを切り替えます。同じラック内の別のアイテムへの回線はそのアイテムへの接続を示し、強調表示されたアイテム上の丸枠内の回線はラック外のアイテムへの接続を示します。
- **アイテムのイメージを表示する** - 各アイテム上に実際の画像を表示するかどうかを切り替えます。このオプションを無効にすると、一部のコンピューターのパフォーマンスが向上することがあります。
- **重量配分を表示する** - 中央のラック図領域で各アイテムの右側にラック重量配分差異を表示するかどうかを切り替えます。アイテムの重量配分に従って、緑色が薄いほど、重量配分が小さいことを示します。

## 9. チュートリアル

このセクションでは、インターフェースを使い慣れることを目的として、シンプルなクラスターを最初から作成する手順を説明します。

- a. まず、スターター画面で「**カスタム**」を選択して、「**Intelligent Cluster**」が選択された状態で、新規クラスターを最初から作成します。「**Intelligent Cluster**」を選択します。該当する国と地域を選択します。「フル・カタログ - スペシャル・ビッドの汎用ラック・コンポーネントも含まれます」を選択します。希望するラック電源設定を選択します。最後に「**完了**」をクリックします。
- b. 1 つ目の自動作成されたラックで、任意のスロットを強調表示して、青い「**追加**」ボタンをクリックします。メニューから「**Server**」>「**新規 server...**」を選択します。
- c. 「**アイテムの表示**」セクションで、「**アイテム・ラベル**」フィールドに当該アイテムの異なるラベル名を入力して、適切な「**ノードの役割**」を選択してから、ラベル・フィールドの下の「**カラーを変更する**」をクリックして新規アイテムの任意の色を選択します。
- d. 「**基本アイテム**」の横のボックスからサーバー・タイプを選択します。
- e. 「**ネットワーク**」タブ・セクションの「**Compute (Ethernet)**」チェック・ボックスを選択して、当該アイテムに計算サーバー接続を割り当てます。
- f. 「**標準の機能およびサービス**」セクションと「**拡張オプション**」セクションで、オプションにいくつかの変更を加えます。
- g. 「**保存**」をクリックして、単一のアイテムのみが現在のラックに配置されることを指定する 1 つ目のオプションを選択します。
- h. 別の空きスロットを強調表示して、青い「**追加**」ボタンをクリックします。「**Server**」を選択します。今回は、「**新規 server...**」ボタンの上のメニューに以前に作成したアイテムが表示されます。「**Server**」メニューから以前に作成したアイテムをクリックして、3 つ目のオプションを選択します。このオプションでは、現在のラック内の他のアイテムを移動したり新規ラックを作成したりせずに、可能な限り多くの当該アイテムを現在のラックに格納することを指定します。
- i. 「**設定**」メニューから「**クラスター設定**」画面を開きます。
- j. ラジオ・ボタンを使用して、上部の「**管理ネットワーク**」を「**分散型**」に変更します。
- k. このパネルの上部の「**ネットワークを追加する**」をクリックして、新規ネットワークの名前を入力します。
- l. 「**保存**」をクリックして、「**OK**」をクリックします。
- m. 一部のアイテムは、作成された新しいリーフ・スイッチのために他のラックに移動されている場合があります。その場合は、画面左側のラック・リストで余分なラックを右クリックして「**ラックを削除する**」をクリックして、そのラックを削除します。
- n. 該当するアイテムを右クリックしてメニューから「**アイテムを編集する**」を選択

- して、以前に作成されたサーバーの 1 つを編集します。
- o. 「**ネットワーク**」タブ・セクションで、新規作成されたネットワークをこのサーバーへの接続用として選択します。
  - p. 「**標準の機能およびサービス**」でいくつかのオプションを変更します。
  - q. 「**保存**」をクリックして、当該アイテムのすべてのインスタンスにこれらの変更を適用することを指定する 1 つ目のボタンを選択します。
  - r. ラック・リストで「**新規ラックを追加する**」をクリックして新規ラックを作成します。
  - s. 青い「**追加**」ボタンを再びクリックして、以前に作成したアイテムを追加します。今回は、表示されるダイアログで 4 つ目のオプションを選択して、指定した数の当該アイテムを追加することを指定します。任意の数を入力して、「**OK**」をクリックします。例えば、100、1000、さらには 10,000 を入力してみてください。**注:** システムによっては、数百を超えるラックのケーブルリングを描画して実行するのに長い時間がかかることがあります。
  - t. 「**ファイル**」メニューの「**保存**」をクリックしてクラスターを保存します。
  - u. これで、100 台以上のサーバーからなるクラスター構成を作成できました。

# 100 ノードの Intelligent Cluster

The screenshot displays the x-config software interface for configuring a server rack. The main window is titled "x-config - 新規クラスター" and shows a configuration for an "Intelligent Cluster, General Purpose".

**Top Bar:**

- メニュー: ファイル, 設定, ウィザード, 規則, アクション, 表示, ヘルプ
- ソリューション: Intelligent Cluster, General Purpose
- 表示価格合計: 428,317,600 JPY
- 国: Japan
- 操作: 保存, エクスポート, 取り消し, 再実行
- 情報: 構成の出荷開始: - 15日営業日以内に出荷

**Main Workspace:**

- ラックの表示/更新:** ラック (Rack\_2185) を更新する
  - 数量を変更する
  - オプションを変更する
  - ラック内自動配置を実行する
  - 中のアイテムごと削除する
- 各アイテムで使用できるアクションを表示するには、下の図で右クリックします。
- ラック図:** A 4x4 grid showing server placement. Rack 1 (blue) is in the top-left, Rack 2185 (green) is in the center, and Rack AUTO\_85 (purple) is in the bottom-right.
- Server List:**

|    |                  |
|----|------------------|
| 34 | Server_2185-0219 |
| 33 |                  |
| 32 | Server_2185-0219 |
| 31 |                  |
| 30 | Server_2185-0219 |
| 29 |                  |
| 28 | Server_2185-0219 |
| 27 |                  |
| 26 | Server_2185-0219 |
| 25 |                  |
| 24 | Server_2185-0219 |
| 23 |                  |
| 22 | Server_2185-0219 |
| 21 |                  |
| 20 | Server_2185-0219 |
| 19 |                  |
| 18 | Server_2185-0219 |
| 17 |                  |
| 16 | Server_2185-0219 |
| 15 |                  |
| 14 | Server_2185-0219 |
| 13 |                  |
| 12 | Server_2185-0219 |
| 11 |                  |
| 10 | Server_2185-0219 |
| 9  |                  |
| 8  | Server_2185-0219 |
| 7  |                  |
| 6  | Server_2185-0219 |
| 5  |                  |
| 4  | Server_2185-0219 |
| 3  |                  |
| 2  | Server_2185-0219 |
| 1  |                  |

**Left Sidebar:**

- 構成について:** この構成は「クラスター承認済み BOM」ではありません。
- 統合された製品:**
  - Rack\_1 (数量: 2 +/-)
  - Rack\_2185 (数量: 4 +/-)
  - Rack\_AUTO\_85 (数量: 1 +/-)
  - Rack\_AUTO\_88 (数量: 1 +/-)
- フロアおよびケーブルリング:**
  - フロアの変更
  - ケーブルリングの表示/編集

**Right Sidebar:**

- アイテムの表示:**
  - Server\_2185-0219 (~ 2,614,500 JPY)
  - [8722, 8722FT1] -SB- IBM System x3750
  - スロット: 19 - 20
  - 出荷開始: B - 12 営業日以内に出荷
  - 取り付けられたオプション (~ 2558600 JPY):
    - 1x B [A2A8, 88Y7326] -SB- Intel Xeon Pr
    - 1x A [8923, 49Y1507] 8GB (1x8GB, 2Rx4
    - 1x Controller 01
    - 1x B [A293, FT1] -SB- x3750 M4 Base
    - 1x -SB- 8722 AC1 Model
    - 1x [A29K, 90Y4344] ServeRAID M5110
    - 1x [5977, 68Y7399] Select Storage dev
    - 1x A [B371, 46M2982] 2.8m, 10A/100-25
    - 1x A [A229, 81Y6822] IBM System x Gen
    - 1x A [A1LE, 00D2899] Lightpath Upgrad
    - 1x A [A228, 81Y6821] IBM System x Gen
    - 1x A [A2A6, 88Y7373] IBM 1400W HE Re
    - 1x B [A29Y, 88Y7362] -SB- x3750 M4 CF
- メッセージ サマリー 履歴:**
  - 注: x-config が提供する電源および冷却のデータ
  - 表示価格合計 ~ 428,317,600 JPY
  - 電流 (@200 V) ~ 1126.14 A
  - 最大電力負荷 ~ 214168.00 W
  - 合計重量 ~ 6750.82 kg
  - 合計 BTU ~ 731484.00 btu/時

## 10. ヘルプとサポート

[x-config のヘルプとサポートのページ](#)では、以下のタブに分けてさまざまな情報を提供しています。

- **Release notes:** x-config の機能拡張情報へのリンクが掲載されており、毎週更新され、現在の制限事項/回避策が列挙されています。
- **Education:** 「スターター」ページに表示される 3 つの構成タイプ（「Intelligent Cluster」、「汎用」、「PureFlex System」）のそれぞれを使用した構成向けの詳細なトレーニングを紹介しています。
- **FAQ:** よくある質問とそれらへの回答を掲載しています。
- **Help contacts:** 構成サポート情報と具体的な問題報告手順を紹介しています。